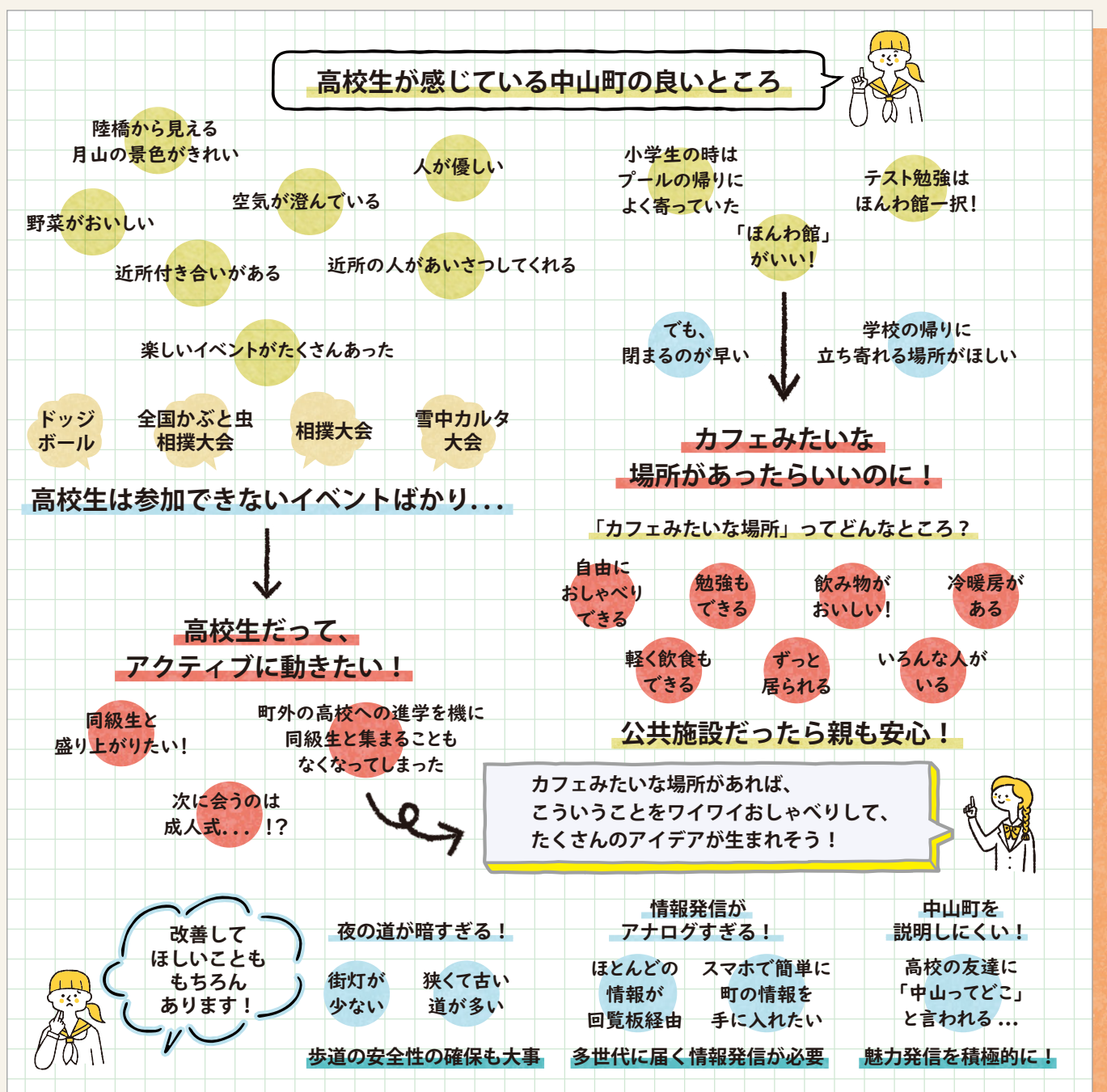


皆さんの「声」を聞かせてください！

中山中学校出身の高校生の話

今回は、中山町に暮らしながら山形市内の高校に通う高校生5名へのグループインタビューの報告です。高校生たちは「車がないと不便」と漏らしながらも、中山町への愛着をしっかりと語ってくれました。新しいアイデアも出てきて、「こうして、ざっくばらんにおしゃべりできる場が、ありそうで無いのかも？」という気づきにもつながりました。



1 夜の道が暗すぎる！

一番多く寄せられたのは、「夜の道が暗い」という点です。「街灯が少ない」「大通り以外は、夜になると暗くて怖い」と全員が回答するほど、自力での移動は徒歩や自転車が手段となることがほとんどである高校生たちにとって、町内の道は不安が多いことが分かりました。小学生の頃も「車一台分の幅しかない道路を歩いて帰る

ことが怖かった」という話もありました。

町内は歩道が不十分なエリアも多く、子どもたちにとっては安心して歩くことができない道も多いようです。車を運転できる世代ではなかなか気づくことができない、高校生ならではの指摘でした。

2 もっとアクティブに動きたい！

「高校に行ってから、あんまり運動していないかも」という話題から、「もっと体を動かしたい！」ということで、球技大会、相撲大会、学校での「逃走中」等々、さまざまなアクティブなイベントの提案がありました。また、「雪中カルタ大会、またやりたい」「ドッジボール大会も楽しかったよね」と、小・中学校の時に経験したことをもう一度みんなでやりたいという要望がみえてきました。聞いてみると、高校に進学

してからは中学校の同級生たちと集まる機会が少なく、高校生に特化したイベントも町内では開催されないため、かつてのように「みんなで集まって、わいわい楽しみたい」という気持ちがあるようでした。雪中カルタ大会は小学生向けのイベントだそうで、「高校生向けイベントを企画してみては？」と提案すると、「えー！楽しそうかも！」とさっそく盛り上がっていました！

3 欲しいのは「カフェのような場所」

高校生が一番よく使うのは「ほんわ館」だそうで、「テスト勉強は、ほんわ館一択！」とのこと。ただ、ほんわ館の自習室は飲食禁止で、さらに閉館時間は19時とのことで、高校生からすると、もっとのびのびと遅くまで利用したいのが本音のようでした。

今回参加したメンバーは全員が電車通学で、最寄りの駅から自宅に帰るまでの間に「少し寄れる場所」が欲しいという話も出ました。「カフェみたいな、あつ

たら良くない？」という話題から「カフェみたいな場所」について具体的なイメージを語ってもらいました。すると、「自由におしゃべりができる」「冷暖房完備」「軽く飲食もできる」「ずっと居られる」「勉強もできる」「いろんな世代の人がいる」等、今の高校生たちが「中山町に欲しいもの」がみえてきました。「カフェみたいな公共施設だったら、遅くまで居ても親も安心するよね」ということで、家でもなく学校でもない場所で、のびのびと過ごしたい気持ちがあるようでした。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第6次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下 URL または、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第6次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>



【主催】中山町総務広報課防災安全対策室（中山町大字長崎120番地／電話：023-662-4899）

【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科 田澤ゼミ

〈2025年2月発行〉